

■児童・生徒の学力の状況

○「全国学力・学習状況調査」の結果から、国語では、条件を踏まえて文章を書くことに課題が見られた。
 ○算数では、中学年の学習内容の定着が不十分であり、文章問題を解く際に必要な思考力が十分に身に付いていない。
 ○理科では、観察結果を確認し、科学的に思考・表現する力が不十分である。
 ○社会では、情報量の多い資料から必要な情報を取り出すことや複数の資料を関連付けて読み取ることに課題がある。
 ○音楽、図画工作、家庭科については興味・関心の高い児童が多く、意欲的に取り組んでいる。しかし、児童同士での意見交換や感想を伝え合う際の語彙力、表現力に課題がある。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題

○文章を要約する力や、文章で自分の考えを伝える力を身に付けさせる必要がある。また、語彙を増やし表現の幅を広げるなど、言葉の力を高める学習を充実させていくことが必要である。
 ○既習事項を確実に身に付けさせるための手だてが必要である。
 ○提示する資料を精選するとともに、資料の読み取りをする活動を多く取り入れる必要がある。
 ○教科書等書かれている必要な内容を読み取ることや、読み取った内容をまとめることについては、教科の枠を超えて指導していく必要がある。

■学校経営方針より(学力向上に関わる内容から)

○基本的な学習規律の定着 *授業の約束五カ条の活用
 ○基礎的・基本的な学習の定着 *高三タイムの活用(東京ベーシックドリル等の活用)
 ○「読み解く力」の育成・向上に向けた取組
 *リーディングスキルテストの活用
 *読書活動の充実(読み聞かせ・読書旬間・電子図書館・学校図書館司書との連携)
 ○授業力の向上
 *板橋区授業スタンダードSの徹底 *校内研究「仲間とともに学び続ける力を身に付ける体育学習」
 ○一人一台端末の活用 *学習の個別最適な学びの推進と協働的な学びの充実 *ICT機器・デジタル教科書の活用
 ○探求的な学習の充実 *総合的な学習の時間の充実
 ○保幼小中一貫教育の推進 *学びのエリア共通目標の取組 *スタートカリキュラム・iカリキュラムの推進 *小中一貫教育授業体験

■授業革新推進に向けての具体的な方策

視点1 板橋区授業スタンダードSの取組	視点2 読み解く力の育成	視点3 総合的な学習の時間との連携
○Input、Think、Outputを意識した授業の展開 ・一単位時間の学習の流れを大切に授業を組み立てる。 ・考えたことを互いに伝え合い、比較検討する時間の充実を図る。 ・ICT機器の活用や協働学習を通して、多様な学び方を身に付けさせる。	○基礎的読解力の6つの分類を意識した指導 ・校内研究やOJTを活用し、「読み解く力」の育成についての理解を深め、日々の授業に生かす。 ・授業内容と特に関わりの深い力を明確にし、中でも「主語・述語・目的語などを把握する力」「文章と図やグラフ等と比べて、内容が一致しているかどうかを認識する力」「学校で習う基本的知識と日常生活から得られる常識を動員して文の意味を理解する力」の育成を意識した指導を行う。 ・教材研究の充実を図る。	○教科等との関連を意識した探求的な学習の充実 ・各教科等と総合的な学習の時間のねらい及び活動内容を連携させ、指導者・教科担当で情報共有しカリキュラムの充実を図る。 ・探求的な学習の視点から、約20時間程度の単元を構成し、「育てたい資質・能力」を明確にした指導を行う。

■いたばし学び支援プラン2025の実現に向けた具体的な取組

授業規律の徹底と集団意識の向上	学習環境の充実	教員の指導力向上
○学びのエリアでの共通指導事項の徹底 ・「授業の約束五カ条」「五つの生活習慣」を常掲し、繰り返し意識できるように指導する。 ○チームで見守る指導 ・月水曜日の夕会時に情報共有の時間を設定し、共通理解を図ることで、学年、専科、学力向上支援員等、全教職員で連携した指導につなげる。 ○集団の一員としての自覚の醸成 ・道徳の授業や学級活動での話し合い、適時性をもった指導等により、思いやりの心や規則を尊重する心を育て、集団の一員としての意識を高める。	○一人一台端末の活用 ・日々の授業において、タブレットPC等ICT機器を積極的に活用し、学習の個別最適化と協働的な学びの実現を図る。 ・デジタル教科書や書画カメラ等、各教材や機器を効果的に活用する。 ○学びの場としての図書室の充実 ・図書館司書や保護者ボランティアらと連携し、図書館機能の向上を図る。 ○学校と家庭の連携 ・両者が協力し、家庭学習を計画的に進めることで、学習習慣の定着を図る。 ○地域との連携と地域から学ぶ活動 ・学校支援地域本部を軸とした地域人材バンクの充実と支援(出前授業・ゲストT) ・地域環境の活用を通して、地域・地域人材を活用した学びの場と機会を増やす。	○校内研究 ・研究主題「仲間とともに学び続ける力を身に付ける体育学習 ～QUの活用を通して～」とし、授業研究や授業改善プランを柱に日常の授業を充実させる。 ・hyper-QU、WEBQUを活用した授業展開と改善、個へのアプローチの充実 ○基礎的読解力の視点を取り入れた授業 ・「読み解く力」について学ぶ機会を設定し、授業改善に生かす。 ○研修機会の活用 ・板橋区教育研究会、各種研究会等に積極的に参加し、教員としての専門性を高める。 ○OJTの計画的・継続的な実施と内容の充実 ○交換授業や教科担任制の推進